

玉淀を活かす遊歩道の整備を



**問** 「川の国埼玉はつらつプロジェクト」の全体計画について伺います。

**答** 埼玉県が市町村と連携して水辺空間を整備・拡充し、人も町も川も、はつらつとなるように利活用を推進するプロジェクトです。この取り組みの特徴は、単に水辺の施設整備を目的とするものではなく、整備した施設の利活用を図り、有効な地域資源として定着させていこうという試みにあります。

そのため、親水公園や遊歩道の整備等にかかる全体計画については、河川区域を管理する埼玉県及び日常的に利活用いただく地元の方々などで組織する「荒川玉淀はつらつプロジェクト推進協議会」と連携しながら、今後策定を進めていきたいと考えています。

### 雀宮公園の公有地化

**問** 雀宮公園の公有地化について伺います。

**答** 雀宮公園の用地購入については、当初予算に計上していますので、議決いただいた後は、速やかに公有地化に向けて準備します。

**問** 遊歩道の整備の内容について伺います。

**答** 東は東武東上線玉淀駅から西は玉淀碑付近のあずまやまでの約1.5キロメートル区間の町道部分の一部を、景観等に配慮した防護柵及び舗装の改修を考えています。また、河川区域内については、県で整備を予定しています。

### 川の国埼玉はつらつプロジェクトとは

**答** 県と連携して水辺空間を整備・拡充する取り組みです

石井康二議員 Koji Ishii

**ことば** **(\*7) インバウンド**…インバウンド (inbound) は「入ってくる、到着する」という意味。旅行業界で外国人が訪れてくる旅行のことです。日本へのインバウンドは「訪日旅行」などと呼ばれます。

鈴木詠子議員 Eiko Suzuki

### 町のインバウンド対策や環境整備は

**答** まずは町民に愛される観光振興を進めます

**問** 近年、日本への観光客は年々増加傾向にあり、国も2020年オリンピック・パラリンピックまでに4000万人の訪日外国人を目指すと言われていて、プータン王国との事前合宿地の誘致が決定している当町としても、我が町を世界に発信できる最高の機会であり、さまざまな環境整備が必要と考えます。そこで公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備について伺います。

**答** まずは町民に愛される観光振興を進めながら、外国人観光客にも喜んでもらえる観光を目指します。公衆無線LANの整備については現在考えていません。

**問** 案内板の多言語表記やタブレット端末による多言語翻訳の整備は。

**答** 現在町内1カ所のみ多言語表記の案内板が整備されています。多言語翻訳については、今後研究していきます。

**問** ARによる鉢形城アプリ作成は。

**答** 鉢形城址の考証を進めながら検討していきます。

### 国際感覚を持っておもてなしを

**問** 選ばれた人だけではなく、全員参加の小・中学生のための英語村の取り組みは。

**答** 既に英語村と同様のイングリッシュサマーキャンプを実施し、現在中学生相互交流事業を実施していますので、改めて英語村事業を行うことは、現在は考えていません。

**問** 外国人案内ボランティアの育成は。

**答** おもてなしできる人材の育成とあわせて、今後研究していきます。



八王子の滝山城ではAR(拡張現実)アプリを活用

## 観光振興と無線LAN



寄居町観光情報

遊具・体育器具の安全対策を



**問** 近隣諸国の大気汚染の影響等により腐食物質を含んだ雨が降り、野外に設置された金属物の腐食が進んでいます。小・中学校の校庭に設置された遊具・体育器具等が腐食し、倒壊による児童・生徒が負傷する事故がありました。町でも、平成24年度に調査したと聞いています。調査結果と、遊具・体育器具の安全対策について伺います。対策が必要な遊具・体育器具はどのくらいありますか。また、小・中学校別ではどうなのか伺います。

**答** 平成24年度に実施した専門業者の点検で、計画的修繕を要する等の判定を受けた箇所は、小学校で56カ所、中学校で24カ所です。そのうち改修済みのものは、小学校で32カ所、中学校で17カ所です。

### 学校別の状況や改修は

**問** 点検結果は計画的修繕を要するという判定で、緊急性がなく安心しました。

町内には小学校が6校、中学校が3校あります。学校別の修繕判定箇所と改修済みの箇所は、どうなっているのか伺います。

**答** 寄居小は9カ所のうち完了済み3カ所、同様に、男衾小13カ所中9カ所、鉢形小9カ所中7カ所、用土小9カ所中6カ所、桜沢小11カ所中6カ所、折原小5カ所中1カ所、寄居中7カ所中3カ所、男衾中11カ所中8カ所、城南中は6カ所全て完了となっています。具体的な場所は、ジャングルジム・シーソー・鉄棒等です。

### 学校の遊具・体育器具の安全点検は

**答** 平成24年度に専門業者による点検を実施

**ことば** **(\*6) コミュニティ・スクール**…学校・保護者・地域のみなさんが共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映することで、一緒に協働しながら子どもたちの成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。

田母神節子議員 Setsuko Tamogami

### どの子にも行き届いた教育を！

**答** 就学支援や放課後塾等で学力保障に努めています

**問** 財務省は、少子化の進展により今後10年間で教職員定数が約4万9400人の減になるという試算を、財政制度等審議会財政制度分科会に提出。しかし文部科学省は「近年の児童生徒への指導の困難化」を主張し、中央教育審議会も認めています。また、世界一長時間労働の教職員の働き方も問題となっています。子どもの貧困と教育の格差拡大、障害など特別な指導が必要な子ども、外国人の子ども等への対策を伺います。

**答** 就学援助費補助金の支給対象は全児童・生徒数の約1%です。また、昨年からは始まった「より・E放課後塾」「より・E土曜塾」参加により、学力も向上してきています。特別支援学級も充実し、喜ばれています。外国人の子どもも仲間とのトラブルはありません。

**問** 教職員の労働時間や体調についてはどうでしょうか。

**答** 病人はいません。労働時間も2、3年前とほとんど変化はありません。

### コミュニティ・スクール(\*6)の課題

**問** 地域と協働した学校づくり、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)が要請されています。評議員制度と違い、かなりの権限を持つ制度で、学校運営・方針等の承認を受けることとなります。人選も含め、課題についての考えを伺います。

**答** 今年度は、先進地(設置運営している学校)への視察等を行い、準備を進め、順次設置できるようにしたいと考えています。



地域でも子どもたちを見守りたい

大澤博議員 Hiroshi Osawa